

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	利用開始時に本人への支援を共に行っていくことを家族にお願いし、プランにも位置づけ協力していただくようにしているが、家族に本人の様子をもっと知ってもらった上で本人への支援と一緒に考えていく必要がある。	家族とともに利用者のこれからの生活を一緒に考え支援することが出来る。	利用者と家族と一緒に過ごすことで、利用者の様子が共有出来るよう外出の機会や行事を企画し、実施する。家族会などを通して利用者の支援について話す機会を作る。	12ヶ月
2	35	火災時の訓練については法人全体での合同訓練を年2回行っているが、非常時に利用者、職員の動きがスムーズに行えるよう他の災害に対する訓練も含め、グループホーム単独での訓練の頻度を上げておく必要がある。	災害時に安全な避難ができるよう利用者・職員がどのように動くのかが決められ、いつでもその動きが出来る。	マニュアルの確認を行い、グループ単独での訓練を定期的に行う。併せて救急対応が迅速にできるよう勉強会、訓練を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。